

卒業制作

『雨音が響いてますね。』

山本将嗣

大西健太

過去…大学2年生 現実…社会人(婚約済み)
いつものベンチで友人を待っていたら後ろ
を通った山田彩に一目惚れをする。ひょん
な事からカットモデルをすることになり二
人の距離が近づいていく。

山田 彩

過去…専門2年生 現実…美容師

(さやか)

美容師を目指す専門学生。カットモデルを探
していつものベンチでモデルを探していた
がなかなか見つからず帰ろうとした際、スケ
ジュール帳を落とし大西健太から落とし物を
渡される。写真が好きでスターバックスの飲
み物と一緒に夕日を撮るのが好き。

渡辺 響

大西健太の友達。

櫻井美桜

大西健太の婚約者。

時間軸…現在 昼

場所…大濠公園のベンチ

様々なベンチの情景を定点カメラで撮る

ベンチに歩み寄っていく健太

ベンチに触れながら左側に座りしみじみとする健太

転調

時間軸…過去 昼

ベンチの左側に座って携帯をいじっている大学生健太

(効果音…ラインの通知音)

ラインのやりとりをする健太

「今どこにいる？」

「いつものベンチに座ってるよ」

「分かった。もうすぐ着く！」

「オッケー」

辺りを見渡す健太

すぐ後ろを彩が通り過ぎる

彩に見入ってしまい目で追ってしまう健太

誰かに肩をトントンされ驚く健太

響
健太
響
健太

響

「よっ、待たせてごめんな」

健太

「いや全然待ってないよ」

響

「あの人見てたけど知り合い？」

健太

「い、いやっ知り合いじゃないよ」

響

「ふーん、まあいいや、早く買い物行こうぜ」

健太

「行こうか」

再度、目で彩を追いながらその場を立ち去る健太

転調

時間帯…夕方

ベンチに座ってスタバの器と共に夕日を撮る彩

スタバを撮って満足しスケジュール帳に何かを書き込みながら飲んでる彩

友人と買い物終わりが終わり帰ってくる健太

昼見かけた彩に気付く健太

彩がベンチから立ち去るがその際にスケジュール帳をベンチに忘れる

それに気付きスケジュール帳を届ける健太

(拾う際にカットモデル誰にしようのメモをみる)

札を言う彩

別日

時間帯…昼

いつものベンチの左側に座り本を読んでいる健太

ベンチに座っている健太に気付く彩

肩をトントンする彩

それに驚いて振り返る健太

「この前はありがとうございました。」

「あつ全然全然、大事なものだっただんですか？」

「うん大事な物、隣座ってもいいですか？」

「あつどうぞどうぞ」

ベンチの荷物をどける健太

「ありがとうございます」

ベンチに座る彩

「本当にスケジュール帳拾ってくれて助かりました。個人情報とか大切なこととか全部書いていたので」

「いえいえ、自分も届けた甲斐があったってもんです」

「あの名前なんて言うんですか？」

「健太、大西健太です、君は？」

健太

彩

健太

彩

彩

健太

彩

健太

彩

彩 「山田彩です。大学生？」

健太 「はい大学2年生です」

彩 「え！待ってタメなの！？」

健太 「え、君も大学2年生？」

彩 「ううん、私は専門学校に通ってる2年生だよ」

健太 「あつ専門学校に通ってるんだ」

彩 「そうそう、あつ今さカットモデル探してるんだけど」

彩がチラシを取り出して健太に見せる

彩 「これなんだけど、お願いしてもいいかな？」

健太 「え？俺でいいの？」

彩 「うん今全然見つからなくて困っててこれも何かの縁だしどうかなって。」

健太 「全然いいよ」

彩 「ほんと！？助かる。ならばLINE交換してもいい？日程とか詳細を送りたいから！」

健太 「おっけ」

健太 「LINE交換をする二人」

彩 「ありがとう！またLINEするね！」

健太 「分かった」

別日

場所…家

時間帯…夜

ラインのやりとりをする二人

「カットモデル引き受けてくれてありがとう！」

「全然大丈夫だよ」

「早速なんだけど明後日って空いてる？」

「うん空いてるよ」

「なら明後日13時に今日会ったベンチ集合でもいい？」

「分かった13時にベンチ集合ね。何か必要なものとかある？」

「本当に助かるありがとう！服装とかは自由で大丈夫だから！」

「分かった」

「ならまた明後日！おやすみ！」

「おやすみ」

別日

場所…ベンチ 彩板付

時間帯…昼

健太 入場

ここからダイジェスト風に展開

ベンチ集合の展開。洋服が変わるなど

服を選んで悩んでるシーンがあってもいいかも
デートのシーンでもいいかも。悩み中。

別日

場所…ベンチ 彩&健太板付

時間帯…夜

健太

「こんな夜遅くに呼び出してごめんね」

彩

「ううん大丈夫だよ、どうしたの？」

沈黙

健太

「俺らが出会ったきっかけってこのベンチだよね、お互いがこのベンチを使ってたから出会ってすらなかったと思う」

彩

「どうしたのいきなり。でもま、そうだよね。私がここですケジュール帳を落としてなかったらお互いのこと知らないままだったと思うし」

健太

「実は俺、彩のことスケジュール帳渡す前から知ってたんだ」

彩

「え！？嘘だろ、いつ？」

健太

「それこそ彩がスケジュール帳を落とした日、あの時は夕方だったけどその前の昼に後ろを通り過ぎる彩を見てたんだよ」

彩

「え、全然気がつかなかった。なんで見てたの？
虫でもついてた？」

健太

「いや綺麗な人だな〜って」

彩

「なるほどね〜・・・ん？」

健太

「まさか仲良くなるなんて思ってたなくて、仲良くなったら
なおさら彩に惹かれていったんだよね」

彩

「うん、私もまさかこんなに仲良くなるなんて思ってたなかつ
たし、一緒にいて楽しいって思えたの久しぶりかも」

健太

「タイミングが少しでも違ったらこんな風に話せてなかつ
たと思う」

彩

「うん。そうだね」

沈黙

健太

「あのね」

彩

「うん」

健太

「好きです。付き合ってください」

彩

「はい」

ここからデートのダイジェスト展開

集合場所がベンチ（数パターン）

夕日をバックにスタバの飲み物を撮る彩と映る健太

海

あひるボート

海ノ中道公園

買い物デート

ここで別れる前兆をシーンも作る

ラインの返信が遅くて悩んでる彩のシーン

付き合ったことに満足して少し放置気味な健太

私のこと好き？と聞く彩にそっけなく答える健太
(健太は悪気はない)

彩が電話できる？のメールを送ってもごめん今厳しい

彩が健太をベンチに呼び出す

場所…ベンチ

時間帯…夜

彩板付

健太入場

「待たせてごめんね」

「ううん大丈夫」

彩の隣に座る健太

「で、話って何？」

健太

彩

健太

彩

「あのね・・・私たち別れよ」

健太

「なんで？いきなりどうしたの？」

彩

「いきなり？全然いきなりじゃないよ」

健太

「え、ごめん、何か怒らせるようなことをした？」

彩

「そうやってすぐ謝ればいいって思ってるんでしょ」

健太

「・・・ごめん」

沈黙

「最近ライン全然返してくれないし好きって聞いても素っ気なく返すし付き合ってるのに片思いしてる気がして辛い。辛い思いするくらいなら別れたい。だからもうこれで終わりにしよ」

沈黙

健太

「そっか・・・うん分かった。楽しかったよ。じゃあね」

健太立ち去るシーン

健太の後ろ姿を追いながら切なそうに見つめる彩

ここから別々の道に進むシーン（2分割）

課題をしている健太とカットの練習をしている彩

お互いが同じタイミングでラインを見返しているシーン

就活している健太と美容室で働いている彩

お互いが同じタイミングで空を見ているシーン

健太が婚約をしているシーン&彩がデートをしてるシーン
各々が大濠公園にいるシーン　ここで序盤とリンクする
先に健太がベンチに座っていて彩はスタバを買いに行く
てる

決心した趣で席を立つ健太

帰ろうとした先に彩がいる

彩は夕日に見とれて道路に背を向けている

その時健太は電話がなりカバンからスマートフォンを探す
際、道路に背を向ける

ここで二人がすれ違いお互いがお互いを気が付かず通り過
ぎる

彩がいつものベンチに向かい健太が座っていた反対側の場
所に座りスタバとともに夕日を撮る

エンドロール